

## 令和7年度 第2回市立公民館運営審議会 会議録

- ・日 時 令和8年2月19日(木) 午前9時30分～午前11時30分
- ・場 所 六人部地域公民館 2階研修室
- ・参加者 福知山市立公民館運営審議会委員15名  
福知山市教育委員会教育長  
事務局：中央公民館長、各地域公民館長(7名) 中央公民館次長補佐
- ・傍聴者 なし

### ○開会

委嘱状交付(新規委員)

挨拶 福知山市教育委員会教育長

委員長の選出 委員の互選により

委員長 吉田 浩重 委員 に決定

### 委員長選出

### ○議事

#### 1 令和7年度市立公民館の事業等について

- ・公民館講座に関して効果測定するために参加者に5項目を設定し実施したアンケート結果について説明。(別添資料P3～8)
- ・令和7年度公民館活動報告について各館長より説明。(別添資料P9～46)

#### 2 その他

- ・令和6年度・7年度の地域住民センターの利用状況について、まちづくり推進課より報告。(口頭により説明)

### ○閉会 委員長挨拶

## 【質疑等】

### ○令和7年度公民館活動報告

(委員) 先ほど、桃映地域公民館から報告があった地域人材の活用について、具体的に43ページのどの講座であったのかを教えてください。

(公民館) 43ページの桃映地域公民館が開催した講座の表の中で、地域にお住まいの方に講師になっていただいたものは、スクエアダンス、歴史探訪の庵我と大正、椅子で楽しむ茶道教室、気功教室、包丁研ぎ教室、夏休み特大書道教室、夏休み親子木工教室の2つの教室、パラスポーツ、音楽鑑賞である。

また、夏のフラワーアレンジメントとお正月のフラワーアレンジメントについては、地域出身の方にお世話になり講座を開設した。

(委員) 福知山市全体で地域人材の交流や人の交流、講師になられる方の交流、あるいは情報提供が進むと、講座が一層広まるのではないかと考えて、お尋ねをした。

(委員) 大江地域公民館からの報告で地域外との交流を考えられているとのことであったが、どのような形で取組をしているのかお聞きしたい。

(公民館) 地域外の方に料理教室の講師をお世話になっており、その方を通じて、料理教室以外の講座の参加を勧誘していただいている。色々な方のネットワークを通じて、大江の各講座を宣伝してもらう形で取り組んでいる状況である。

(委員) 六人部地域公民館で実施されている花の苗植について、今年度の予算はどの程度であるか。

(公民館) 花の苗植の予算額として、4つの保育園、小学校、中学校に対して、心の教育実践活動費から約1万円を補助している。

(委員) 素晴らしい活動であり、これからも続けていただきたいと思う。

(委員) 各館のエレベーターの利用状況が分かれば、教えてください。成和地域公民館の大規模改修にあたって、体育館に冷暖房設備を入れてほしいと市に要望したが、エレベーターの設置が優先された。そのため、エレベーターの稼働率がどれくらいであるのか教えてください。

(公民館) エレベーターの稼働率は出していないが、2階に研修室、会議室があるため、エレベーターの利用は多い。

(委員) 体育館には冷暖房設備が整っているのか。

(公民館) 体育館に冷暖房設備はないが、その代わりにスポットクーラーを配備している。災害があった場合は、冷暖房設備が整っている公民館の和室に避難していただくことになる。ただし、大規模災害で避難者が多くなる場合は、体育館を利用することになり、スポットクーラーで対応することになる。

(事務局) 改修等により現在、エレベーターを設置している公民館は、川口地域公民館、日新地域公民館、六人部地域公民館、桃映地域公民館になる。それぞれ現状を報告させていただく。

(公民館) 川口地域公民館は、改修完了から間もないため、利用は少ない。

(公民館) 桃映地域公民館でのエレベーターの利用状況は、2階に大会議室があるため、多くの団体が利用されている。特に、貯筋体操など高齢者が参加される教室等はエレベーターの利用率は高い。また、比較的若い年代の団体についてもエレベーターは利用されている。

桃映地域公民館は広域避難所に指定されていない施設であるため、体育館にはスポットクーラーが配備されていない。

(委員) 先ほどの委員さんの関連質問になるが、スポットクーラーは避難所に指定されている体育館に配備されているという理解でよいか。新築した桃映地域公民館は避難所に指定されていないので、スポットクーラーが配備されていないということによいか。

(公民館) そのとおりである。桃映地域体育館にはスポットクーラーを配備していない。

(委員) スポーツ協会は市民体育館の管理運営を行っている。去年は40度を超えるような猛暑で危険な暑さであった。体育館は幅広い年代の方が運動される場所であるが、とても運動ができるような状況ではなくなっている。昨年度、スポーツ協会から市長に体育館へのエアコン導入の要望を行った。まずは、小学校、中学校の体育館を優先してエアコンを導入し、その後、地域体育館や市民体育館に導入してもらいたいと申し入れしている。市民体育館の現状の取組としては、猛暑日などに大会で市民体育館を使用される時には、空いている会議室をクールダウンルームとしてエアコンを自由に使用いただいている状況である。各地域体育館の空調設備の状況がよく分かったので、今後の活動にも生かしていきたいと思う。

(委員) 活動報告を聞いて、毎年、講座もアップデートされていると感じた。私が活動しているベルマーク活動について、報告させていただく。大江地域の厚意により、大江学園の学校図書26冊を買っていただくことができた。活動の一部が被災地支援や特別学校支援などに回っており、地域の方の力が形になって他の地域の支援にも役立っている。今後ともご協力いただきたい。資料2ページの令和7年度市立公民館の活動の重点に、「地域の絆」をつないでいく公共の施設、「希薄になりつつある地域の絆を深めるとともに」、「コミュニティの活性化を促す」、「子どもの成長を地域全体で支え、かつ育む環境づくり」、「社会参加できるようになる」、「地域ボランティア活動の推進」、「世代を越えてボランティア活動を進めるため」、「ボランティア意識の向上をめざす」と記載されている。資料を読む度に、自分の活動と通じることがあり、今後ともご支援をお願いしたい。また、各地域公民館で開催されているコミセンまつりで、無料ブースを提供いただき、地域の方に私どもの活動を広報する機会を与えていただけると大変ありがたいと思う。

## ○令和6年度・7年度の地域住民センターの利用状況報告

(まちづくり推進課) 令和7年度の地域住民センターの貸館利用と活動内容について報告させていただく。貸館としての利用件数については、令和8年2月10日現在で、日新、六人部、成和、桃映の4つの地域公民館で延べ67件の利用があった。そのうち参加料を徴収する等の営利利用が67件中65件で、非営利と分類している利用は2件であった。利用団体数は17。主な利用内容は、書道教室や水彩画教室、マルシェ、子育て交流会など住人の方が交流できる場としての活用を多くいただいている。参考までに令和6年度の利用実績については、六人部、日新、桃映、北陵の4つの地域公民館で延べ77件の利用があった。そのうち、営利利用が73件で、非営利が4件であった。利用団体の実数は17であった。そのほか、地域住民センターは貸館活動以外に、まちづくり推進課、地域包括支援センター、地域公民館との情報交換をしながら、住民自治を支援していくという機能も推進していきたいと設置したものである。そうした事業として、令和7年度に六人部地域公民館において、「六人部おしゃべり広場ミライトーク」を実施した。本来、地域住民の活動を支援していくのであれば、社会福祉協議会や地域内にある児童館、会館など他の機関ともしっかりと連携し、地域のことを考えるということも必要ではないかと考え、試行的に実施をしたところである。その中で地域にある資源、人や場所、歴史について、地域の中で様々な活動をされている方と改めて共有していくことが新しい住民同士の繋がりづくり、活動のきっかけづくりになるのではないかと考え、「六人部おしゃべり広場ミライトーク」と題して、7月10日、7月26日、8月29日、延べ3回実施した。上六人部、中六人部、下六人部の自治会長、民生委員、サロン活動をされている方、地域づくり協議会、その他、地域内の福祉施設で働かれている方、事業を営んでいる方、色んな方に参加いただき、自分たちの地域にどのような宝物があって、自分たちの地域でどんなことをしてみたいかを話し合った。最終回では23名の方に参加いただき、地域の宝物としてみなさんが思ったものを付箋で延べ237枚も書き出していただいた。六人部地域公民館を舞台にしてやってみようというアイデアについても124枚書き出していただき、みなさん楽しみながら取り組んでいただけたと思っている。その時にサロン活動をされている方々から「今まで他のサロンの方がどんなことをされているかを聞く機会がなかった。」や「こういう機会がまたあればいいな。」という意見がたくさんあったため、社会福祉協議会が1月29日に「六人部地区いきいきふれあいサロン交流会」を開催され、地域内の11サロン24名が参加された。参加された95%の方が「とても参考になった」、「他のことを聞いたり悩み事を共有できたことでまた自分の活動を頑張っていこうと思った」というような満足の声を寄せていただけたと聞いている。このように少しずつではあるが、住民の方が様々に取り組まれていることを繋いでいく、住民が主役となった活動する場として、地域住民センターが活かされていく

ことが地域住民センターを設置した意義であると考えているため、話し合いをしっかりと大切にしながら色々な試みを次年度以降も続けていきたいと考えている。

(委員) 地域住民センターとは関係ないことであるが、成和地域に児童館が設置されていないことについて、どのように考えられるか。

(まちづくり推進課) 児童館については、まちづくり推進課の所管ではないため、設置されていない詳細な理由は分からないが、成和地域に親子が集える場所があることで、もっと住みやすい地域になるのではという思いでの発言と受け止めさせていただきたい。

#### ○その他

【委員】市の公式ラインを充実するということが情報発信されている。発信する側がいくら進化しても、その情報を受け取る側にノウハウがないと費用対効果も生まれないと思う。以前、地域公民館でスマホ講座を実施されており、私も参加したことがある。ラインの使い方などを教えてもらえるスマホ講座を今後も引き続きやっていただきたい。

(公民館) 現在、市民の方からの各種申込みや問い合わせなどについて、行政サービスの効率化や利便性の向上のため、市役所の色々な部署がラインを活用するよう進めている。ラインの操作方法などは、市で中心となって進めている部署に市民の方に丁寧に説明をしていく必要があるとのご意見があったことを伝える。また、スマホ講座については、今後の講座を企画していく中で、意識して取り組んでいく必要があると改めて感じた。